

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

## 阪急交通社グループ 旅行概況(4月分)について

2026年4月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

### 株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	16,140,911	10,976,859	147.0%
国内旅行	18,791,270	16,169,759	116.2%
訪日旅行	2,294,912	1,927,463	119.1%
合計	37,227,093	29,074,081	128.0%

#### 【概況】

4月の営業概況は、総取扱額372億2,709万3千円、前年同月比128.0%となりました。

海外旅行は、4月の出国日本人数が前年同月比108.4%となり、特に近距離方面において回復傾向にあります。一方で、中東情勢による航空便の運休や減便の影響が一部に見られるなど、市場の動向は今後も注視を要する状況です。

こうした中、当社では需要が堅調なアジア、ハワイの募集告知を強化したほか、欧州、アメリカなど長距離方面において、ビジネス・プレミアムエコノミークラスを利用する商品の拡充を図りました。

その結果、インドネシア、マレーシア、ベトナムなどのデラックスホテルを利用する商品の販売が堅調に推移し、前年を上回ったほか、韓国では周遊型旅行が人気を集めました。また、アメリカではビジネスクラスを利用する高額商品の取扱高が伸長しました。

4月の海外旅行の取扱高は、161億4,091万1千円、前年同月比147.0%となりました。

国内旅行は、物価高で消費マインドが冷え込む中、4月の日本人延べ宿泊者数が前年同月比97.6%となり、先月から1ポイント低下するなど、需要の停滞が続いています。

こうした中、当社では桜の観賞や立山黒部アルペンルート・雪の大谷ウォークなど季節性の高い商品で需要喚起に取り組むとともに、名旅館や“ゆとり”をコンセプトとする付加価値型商品の開発を進めました。その結果、東北の三大桜や吉野の千本桜など桜の名所をめぐるツアーや、雪の大谷を組み込んだ周遊型旅行が好調に推移したほか、九州方面では邦船のチャータークルーズやデラックスホテルを利用した商品が伸長し、前年を上回りました。

4月の国内旅行の取扱高は、187億9,127万円、前年同月比116.2%となりました。

## 株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	3,478,453	2,376,345	146.4%
国内旅行	196,776	199,978	98.4%
訪日旅行	14,336	16,559	86.6%
合計	3,689,565	2,592,882	142.3%

### 【概況】

4月の営業概況は、総取扱額36億8,956万5千円、前年同月比142.3%となりました。

海外旅行は、中東情勢に伴う取扱件数の減少が懸念されたものの、アジア・欧州方面における業務出張の取扱いが堅調に推移しました。取扱高は34億7,845万3千円となり、前年同月比146.4%と大幅に増加しました。

国内旅行は、業務出張が底堅かった一方で、企画旅行の取扱いが落ち着いたため、取扱高は1億9,677万6千円となり、前年同月比98.4%にとどまりました。

## 2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	19,222,732	13,025,321	147.6%
国内旅行	18,943,376	16,337,746	115.9%
訪日旅行	2,309,248	1,944,022	118.8%
合計	40,475,356	31,307,089	129.3%

※2社間の取引を相殺したものです。

### <本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724